



「やさしい言葉 思いやりの行動が あふれる学校に…」

6月7日（水）～9日（金）に3年生は修学旅行で長崎、九州方面へ行ってきました。原爆資料館、爆心地での平和セシモニー、出島や眼鏡橋の見学、ハウステンボス、太宰府天満宮でのお土産購入等、満喫した3日間を過ごしました。学校の外へ出た時に、集団としての真価が問われます。3年生は行動、態度が立派であり、さすがは堅下南中学校の「顔」である3年生でした。

『 思いやり 』

参加した3年生の中には体調が優れず休みがちな生徒や、不安や緊張から参加が心配された生徒も居ました。ですが、3日間を通して、大きく体調を崩した人やしんどくなって活動から離れる生徒は居ませんでした。

それは、きっと仲間への思いやりがあったからだと思います。大丈夫？の一言や、一緒にしよう！という誘い、班で行動する際にも、折り合いをつけるなど、仲間を気遣う場面を数多く見聞きしました。その結果、3日目の最後の昼食会場でのジンギスカンを食べながらの全員の飛び切りの笑顔と一体感。全員でやり遂げたという充実感が感じられました。



2日目 ハウステンボスでの班行動



3日目最後の昼食 ジンギスカン

＜ 思いは見えないけれど、思いやりは見える ＞

今から12年前、東日本大震災が起こった際に、テレビCMで繰り返し流されていました。「ここは誰にも見えないけれど、こころづかいは見える。思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える。その気持ちをカタチに」詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋です。全校集会で皆さんにお願いしました。

主体性を高めるには、

「自分で考える、他者と関わる、行動力を高める」
でしたね。

まさに、主体性が高まったことを発見できました。

2日目ハウステンボス入国後すぐ



『 守る 』

「ルールを守る」 今回、3年生ではデジカメやインスタントカメラを持参することを許可していました。見学先で感じたものを写真に収め、事後学習に活用するためです。また、カバンも制カバン以外の利用も許可しました。お土産をできるだけカバンに入れて持ち帰るためです。3年生は先生方の信用に応え、心配されたルール違反などは一切なく、3日間を過ごしてくれました。

「時間を守る」 班行動や自由時間、就寝時間や起床時間、初日の早朝6時での集合完了等全てにおいて参加した生徒全員が時間を守ることができました。自分たちですすんでルールを守る。素晴らしい学年です。

さて、学校では得ることができない貴重な体験を積んでくれた3年生。これからの多くの学校生活で皆さんの力を発揮してくれることを願っています。本当に力を発揮するのは、これからです。また、良い学校、良い学年には必ずリーダーが居ます。その場その場で問題点を的確に掴み、皆に伝える。修学旅行で校長先生は知りました。3年生諸君は、仲間の意見に耳を傾け、感謝と思いやりをもった行動ができる学年です。

さあ、出てこい リーダー！

LEADAR



小3中2合同遠足に向けた交流会

来る6月23日（金）の小中合同遠足に向けて、小学3年生の児童たちが14日（木）の5、6時間目にやってきてくれました。短い時間でしたが、自己紹介をし合い、久しぶりの再会に照れくさそうにする中学生の姿が印象的でした。

その後は一緒にドッチビーや鬼ごっこをして過ごし、交流を深めました。中学生が紐を結んであげたり、キャッチしたディスクを児童に渡してあげたり、飛んでくるディスクから守ってあげるなど思いやりがあられる行動を数多く見るすることができました。



水泳学習が始まる前に、安全を祈願



6月20日から始まる水泳学習を前に、各学年の体育委員が一足早くプールサイドに集まり、水泳学習の安全を祈願しました。今年も堅下南小学校のプールが使用できないことから、何日間か、児童がプールに入りやってくる予定です。皆に気持ちよく使ってもらうために、更衣室やシャワー、プールサイドの掃除も意欲的にやってくれました。体育委員の皆さん、ありがとうございました。そして、生徒の皆さん、先生の指示ををしっかりと聞いて、安全で楽しい水泳学習にしてください。

